

実施報告書

すくわくプログラム

～幼児クラス～

施設番号	66-0194
施設名	練馬二葉保育園
施設所在地	練馬区豊玉南 3-31-15
法人名	社会福祉法人和敬会
活動期間	令和7年4月～令和8年3月
実施回数	10回
対象クラス	3歳児クラス(22名)、4歳児クラス(20名)、5歳児クラス(21名)
活動内容の公表	活動内容のドキュメンテーションを作成し園内に貼り出して周知した。

テーマ 音

テーマの設定理由 当園では聴く力を育み、表現を拡げる音環境を大切に保育しています。

いろいろな音に気付いたり触れたりする中で、探究活動を楽しみ自分なりの表現を豊かにして欲しいという思いがありました。

【事例1】

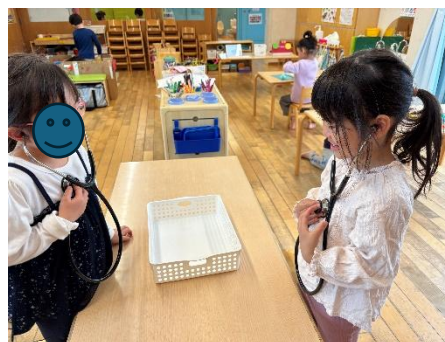
活動名「聴診器を使って色々な音を聞いてみよう」

- ねらい：身の回りの音に興味をもつ
- 活動内容：聴診器を使って身の回りの音を聞く
- 用意した環境：聴診器

子どもたちの様子

聴診器に興味を持ち、エレベーターやピアノ、お友達や保育士の心臓の音を聞くなど園内の音になりそうなものに聴診器を当て音を楽しんでいた。

音を聞き終わった後はお医者さんごっこへと遊びが変わっていた。



保育者の振り返りと気付き

- ・周りの音が大きいと聴診器からの音が聞きずらかった。少人数ずつ屋外の音を聞くなどのアプローチをしていく。
- ・音に興味は持っていたが、物の音を聞くよりかはごっこ遊びがメインになっていた。

【事例2】

- 活動名 楽器を使ったリズム遊び
- ねらい 鈴やカスタネットなどの簡単な打楽器を使って自分で演奏する体験を楽しむ。
- 活動内容 普段歌っている歌に合わせて楽器を鳴らしてみる。
- 用意した環境 人数分の鈴とカスタネット

子どもたちの様子

保育士に持ち方を教わったあと、最初は慎重に、次第に自由に鳴らす姿が。いつも歌っている歌に合わせて簡単なリズム遊びをしていくうちに「優しく叩くと優しい音（小さい音）になる」という気付きもあった。



保育者の振り返りと気付き

楽器に親しむことから始め、普段歌っている歌に合わせて簡単なリズム遊びをしていく事で音やリズムへの興味を持つきっかけとなる姿が見られた。今後も簡単な打楽器や手作り楽器なども用いて様々な音があることへの気づきへと繋げられるような関わりをしていきたい。

【事例3】

- 活動名 自然の中での音探し（音階の違い）
- ねらい 身近な自然の中にどんな音が隠れているか、興味を持って探索する。
- 活動内容 公園の中で枝を使って様々な場所を叩いたりしてみる。
- 用意した環境 近くの公園に出掛ける。木々の多い場所を選んでいった。

子どもたちの様子

大きな木や公園の柵を木の枝で叩くと「全然違う音がする」と音の違いだけでなくどんな音に似ているのかも考えているようだった。



保育者の振り返りと気づき

音程の違いにも気づき保育士に知らせていた。子どもたちの気づきに共感していきながら、更に太さの違う木や素材の違う柵ではどんな音が鳴るのか試していきたい。また、叩くだけでなくこすったり違う素材で叩くとどんな音がするのかをじっくりと音探しをする中で楽しんでいきたい。

【事例4】

- | | |
|---------|------------------------------|
| 活動名 | 水笛 |
| ○ねらい | 水笛を吹く中で色々な音が出せることに気付く |
| ○活動内容 | 容器に水を入れてストローで吹くと音が鳴ることを楽しむ |
| ○用意した環境 | ヤクルトやヨーグルトの容器と細工したストローを用意する。 |



子どもたちの様子

昨年度の夏に水笛で遊んだことを思い出し、ヤクルトの容器に水を入れて細工したストローを吹いて音を出して鳥の鳴き声のような音を出している。水の量やストローの角度や息の強さを調節しながら様々な音を出している。

保育者の振り返りと気づき

昨年度の経験から息の強さも調節して吹いている姿があった。自分で加減して吹く中で色々な音を楽しみ様々な音に興味を持てるようにしていく。

【事例5】

活動名 リズム遊び

- ねらい 音に合わせて体を動かすことや行事の中で表現する姿を発表する
- 活動内容 ピアノの音や曲に合わせて、体を動かすことを楽しむ
- 用意した環境 ピアノ・デッキ・ポンポン

子どもたちの様子

曲の速さによって動きを変えてみたりポンポンを持って踊った時に「大きく手を振るとしゃらしやらの音が大きくなる！」と動かし方によって音に変化があることにも気が付いていた

保育者の振り返りと気付き

子ども達の気づきに共感していき、楽器以外の物から鳴る音に着目した活動を取り入れていく中で身近な音への興味関心を広げていきたい。



【事例6】

- 活動名 「サウンドマップ」
- ねらい 身の回りの音に気付く
 - 活動内容 園周辺を散歩しながら音探しをする
 - 用意した環境 園周辺の地図



子どもたちの様子

耳を澄ましながらか、聞こえる音を口に出して言う。秋ならではの虫の泣き声を聞き、興味を持っていた。また、歩く場所によって足音が違う事に気付く姿も。

保育者の振り返りと気付き

音を聞きながら散歩をする経験がなかったため、周りの音を聞こうとするまでに時間がかかっていた。音に気づき関心を高めていくと、次々に音を発見する姿が見られた。引き続き音探しを続けていけるようにサウンドマップ作成を続けていきたい。



【事例7】

- 活動名 自然物を用いた楽器作り
- ねらい 身近な素材を使って様々な音を楽しむ
 - 活動内容 枝や木の実、葉っぱを使って楽器作りを楽しみ、ピアノに合わせた合奏を発表する
 - 用意した環境 自然物、ボンド、空き箱などの廃材、ピアノ

子どもたちの様子

枝の太さやどんなものを叩くかによって音が変わることに気が付いたり、ぎゅうぎゅうに詰めすぎると音が鳴らないことに気付く姿があった。

保育者の振り返りと気付き

一人ひとり楽器を作る中で友達と一緒に演奏する事の面白さを感じることができた。今後も友達と一緒に演奏する中で生まれる音の重なりにも着目できるような活動を取り入れていきたい。



【事例8】

- 活動名 バイオリンコンサート
- ねらい ヴァイオリンの生演奏を親しみ、音色の美しさを感じる。
 - 活動内容 曲当てクイズや知って曲童謡やクラシックなどの曲を聴いて楽しむ。
 - 用意した環境 マット、yogibo、椅子、衝立

子どもたちの様子

知っている曲と一緒に口ずさみながら、心地よさを味わう姿が見られた。
「気持ちいい音がするね」という声が聞かれた。拍手をしながらリズムを取っていた。



保育者の振り返りと気付き

目の前で楽器の演奏を食い入るように見ていた。周りも笑顔になり、楽しんでいる様子が伝わってきた。知らない曲にも興味を持ち楽器にも興味持つ姿を見て興味関心が広がっているの行くのを感じた。本物の生の演奏、体に響く振動など、デジタル音との違いに気づいたのか気になる。

【事例9】

- 活動名 和楽器ワークショップ
- ねらい 日本古来の和楽器の音色を身体全体で感じ、楽しむ。
 - 活動内容 音当てクイズ、園歌と一緒に唄う、演奏を聴く。実際に太鼓を叩いてみる。
 - 用意した環境 マット、椅子

子どもたちの様子

音当てクイズでは自分なりに感じたことを言葉にして表現していた。
太鼓をたたいてみると体に響く感じを「ずしんずしんする」「がんがんする」と言葉で表現していた。



保育者の振り返りと気づき

日本にある伝統的な楽器を目の前で見たり、演奏を聴く事で、「やってみたい」という気持ちが広がっていくようだった。太鼓も自由に叩きながら友達と合わせる心地よさも感じていた。日本古来の音を体験できることは日本人としてよかったと思う。

【事例10】

活動名 発表会

○ねらい 様々な楽器に触れ演奏を楽しみ、音から様々なイメージを広げていく。

○活動内容 ボディーパーカッション、楽器遊び、表現遊び

○用意した環境 鉄琴、木琴、鍵盤ハーモニカ、タンバリン、カスタネット
ウッドブロック、トライアングル、鈴、マイク、台



子どもたちの様子

初めはリズムの取り方や、鍵盤を正しく叩くことが難しかったが練習していく中で上達していき、様々な楽器に触れ、音や音階、友達との音の重なりを楽しんでいた。本番も伸び伸びと演奏を楽しんでいた。



保育者の振り返りと気づき

楽器を練習する中で演奏の難しさにも気づき、繰り返し練習することの大切さを感じたようだった。友達の楽器の練習を見て「この楽器をやりたい」と憧れの気持ちも持ち、様々な楽器に興味を持ったようだった。友達と音を重ねる楽しさ、合わせる難しさも感じていたようだ。音の長さ大きさを自然に意識できたのは良かった。